



福たん通信

第 2 号

令和6年7月26日

タクシー乗務員指導者に対する

普通2種免許取得研修者に対する指導のポイント（第4回）

普通2種免許取得に向けた 指導員用・虎の巻

「二種免許取得のためのポイント集」

協会HPの「**会員専用ページ**」⇒
会員メール」に掲載！！

普通2種免許取得研修者に対する指導のポイント（第1回）

指導者の日々の安全指導ご苦労様です。
研修生に対して新しく乗務員を養成するにあたり、自動車運転免許試験場で直接技能試験を受ける研修生を指導されていると思います。
しかし、筑豊試験場や筑後試験場で直接技能試験を受ける際、両試験場ともに初回受験の後は予約制で2回目受験まで2週間（筑後試験場は1週間）の期間が空き合格までに長い期間を要しています。
そこで、場内、路上試験を受験する際に気を付けるポイントを書き出していますので教習生に対する指導に役立ててください。

◎ 場内試験

まず、自分の試験順番になる試験車両に乗り込み出発するまでの減点項目
※ 試験は試験車に乗り込むところから降りてドアを開けるまでの間を採点します。

2種の場内試験は鋭角コース、方向変換、縦列コースを行います
場内試験後に80点以上点数が残っていれば路上試験に移行します

課題

場内

(1) 鋭角コース

コースに前進で進入し1回以上3回以内の切返しで通過します。

- ・ 切返しのために停止した際、次に進行する方向の確認をしない（安全確認）
- ・ 内輪差で脱輪

(2) 方向変換

コースに進入しバックして向きを変えてコースを出る
（駐車措置をとる必要はない）

内容

令和5年8月から4回に亘って会員向けに発行したみだしの運転技能指導員用の資料を改めて、協会ホームページに掲載しましたので、普通二種免許取得のための各社技能指導員は勿論、二種免許試験受験者自身も是非、本資料を熟読・理解して、二種免許の早期取得を目指してください。

「業界全体の乗務員の資質向上は皆様自身の心がけ次第！」

【福岡市タクシー協会 交通対策・指導委員会(事務局)】